

社 報



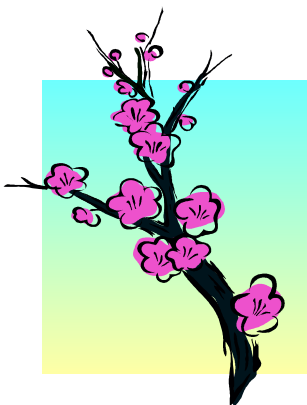
表彰されました

1月27日、鴻池組大阪本店の安全管理方針説明会が開催されました。

今年の方針としては、送り出し教育を充実させ、職人さんへの指導・教育を繰り返し行い、行動災害を防ごうというものでした。

当日は、川路工務店の川路芳和さんが優良職長ということで、安全協力会会長表彰をいただきました。おめでとうございます。

今後も、「腕を磨き続けてこそ職人」を信条に、職人さんの育成・指導に励んでください。



本当に大丈夫か！

2月の月初めに、清水建設の安全会議が開催されました。この会議は毎月月初めに開催され、専門工事業者も多く出席して、月々の安全を確保すべく話し合いが行われています。

その会議で、吉住支店長が事故の多発の影には、拠り所のない安心があるのではないかと問われました。

拠り所のない安心とは、例えば、今までこの方法でやってきたから大丈夫、であるとか、大手メーカーの機械であるから安心とか、ただなんとなく安心であると思い込んでいることが多いというわけです。

安全には根拠がいるのではないかと、ということなのです。

ですから、毎日の仕事の中で、要所要所では、今までやってきたが、今日は本当に大丈夫だろうか？と確認する。この機械は昨日まではきちんと動いていたが、今日は突然に不調をきたさないだろうか？と確認する。

玉掛けワイヤーでも、日々使用されている中で、目で見えるような大きな変化はなくても、日々に劣化は確実に進んでいます。

それは、道路の交差点と同じです。昨日は、この交差点は無事に渡れたので、今日も無事に違いないと、車の位置も確認せずに横断する人はいないでしょう。交差点の交通状況は日々刻々と変化し、横断の際には左右を確認して安全を確認します。

現場でもそれは同じことであり、すべてが交差点と同じように、日々刻々と変化しています。

本当に大丈夫だろうか？と確認を怠ればいつか事故が発生します。

このことは安全に限ったことではありません。品質や工程・原価にも同じことが言えます。

仕事の手順にしても、昨日と同じで本当に良いのだろうか？もっと安全な方法、もっと効率的な方法、コストを改善できる手順はないだろうか、などと、疑問を抱かねばなりません。

現状を否定することは、自分を否定することではありません。現状を否定することによって、現状の実態を知り、現状の最良を確認できることもあると思います。

そう、今のままで、本当に大丈夫？って、自分に問い直してみましよう。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

2009年の安全方針 整理・整頓

当社の安全方針は整理・整頓です。これは永遠に当社のテーマです。整理・整頓ができなくては、人の行動はもちろん、事故の原因になりやすい人の心理など、奥深い事象について言及できるはずありません。

人の性質から言っても、行動や心理などは管理できるはずありません。しかし、整理・整頓の行き届いた現場

は、人の行動や心理を正しい方向に導くはずで、

不安全行動など、ふとしたハズミでミスを起こしやすい人間ですが、整理整頓の行届いたところでは、ミスも少なくなると確信します。

いつも片付けてきれいな現場が実現できないようでは、事故はなくならないと思うのです。

2009年 安全成績

現場災害 H21.1.1-H21.2.11	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
交通災害 H21.1.1-H21.2.11	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0